

公表：令和 5 年 3 月 13 日

事業所名 はんざわ体操クラブ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			体育館とデイルームがあり、身体を動かす十分なスペースがあります。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員に応じて人数を配置しています。	必要に応じて、職員を多く配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			遊びや机上での学習など活動ごとに部屋を仕切って使用しています。	施設の玄関や入口等の段差を減らす等の配慮をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日清掃していて、清潔な空間を意識しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			連絡ノートなどで引き継ぎ等を行っています。	会議等でも伝達事項が周知されているか確認するよう努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果に基づき、業務改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開していません。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は実施していません。	今後は外部評価を行い、参考にしていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			様々な研修の機会を提供しています。	外部の研修にも積極的に参加していけるよう体制の整備を行っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者との面談で、子どもへのニーズを聞き取り、計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			担当者が立案し、全職員に周知を図ることで、職員全体で支援に当たることができています。	必要に応じて職員間で話し合いの場を作り、対応等を確認して支援しています。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で話し合いながら活動プログラムを作成しています。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			体育館活動やデイルームでの活動の中で、様々な遊びや運動を取り入れています。	季節にあわせた制作等を行うことができます。今後新しい活動を取り入れられるように検討しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			集団での活動を主として行っていますが、状況に合わせて個々での活動も取り入れています。	利用者や保護者のニーズを聞き取り、工夫しながら活動内容を考えていきます。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日にいる子どもについて引き継ぎ内容を確認したり、役割分担を決めて支援を行っています。	子どもの状態を職員全員が把握し対応できるよう努めています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			子どもや保護者の様子等を職員間で確認したり、特記事項があるときには、職員全体が把握できるよう伝達しています。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の活動の内容を具体的に記載しています。また全体を通しての振り返りも記載しています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度モニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しや変更を行っています。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しています。		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			家庭からの相談があった際には関係機関と連絡を取り合い連携して支援を行っています。		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		移行支援の実施はありません。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					職員の資質向上を図る為、今後も研修への参加をしていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				地域のお祭りに参加したり体操教室を通じて、交流する機会があります。	今後も地域の子どもたちや近隣の幼稚園などとの交流の場が設定できるか検討していきます。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今後参加を検討していきます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		児童の状況や保護者のニーズに応じて、面談や電話で話を伺っています。	送迎時に日頃の様子や変化を伝達しています。また連絡ノートで活動の様子を報告しています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		子どもとのかかわり等を保護者に伝え個々の子どもの理解ができるよう支援を行っています。	
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や利用者の負担額等に変更があった際に説明をしています。	保護者が理解しやすいように説明を行っています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者からの意見を取り入れて個別支援計画を作成し署名捺印をもって同意を得ています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡ノートや電話、送迎時に話を伺うなど、相談を受ける体制を構築している。	保護者が相談しやすい環境を整えています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			現状、父母の会はありませんが、保護者同士の連携を支援していただけるような取り組みを検討します。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談やクレームの申し入れは窓口を明記し対応しています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページや手紙等で活動を発信していただけるよう検討していきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の書類は鍵付きの書庫等で保管しています。	利用者の個人情報については、厳重に管理します。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードやスケジュールなど視覚的にわかりやすいものを使い意思疎通に努めています。	保護者とは連絡ノートへの記入をわかりやすくするなどして情報を伝達するよう努めています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域で開催される行事に参加することができています。	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定しています。	保護者への周知を強化していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を年に2回計画・実施しています。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		対応が必要な児童については、主治医からの指示書の提出をお願いしています。	契約時に保護者から健康調査を行い、状況把握に努めています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			アレルギーがある場合は食事の持参をお願いしています。	契約時、面談時に確認を取り、職員間で周知を図っています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成しています。	職員間での共有ができるように努めています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員全員で研修を行っています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○			身体拘束対応児童が現在はいないため、記載していません。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。